

モモせん孔細菌病防除に取り組みましょう！

「モモせん孔細菌病」の発生がもも生産者の皆様の悩みの種となっています。

せん孔細菌病は薬剤のみによる防除が難しく、防除には**総合的な防除**が必要です。

総合的な防除＝薬剤散布＋耕種的な防除（風対策・枝病斑のせん徐等）
新しい防除対策はない！今ある対策をそれぞれ徹底！！

せん孔細菌病とは？

特徴1 病原菌は細菌。防除が難しい。特徴2 風の強い場所で発生が多い。特徴3 雨で増加。



果実被害

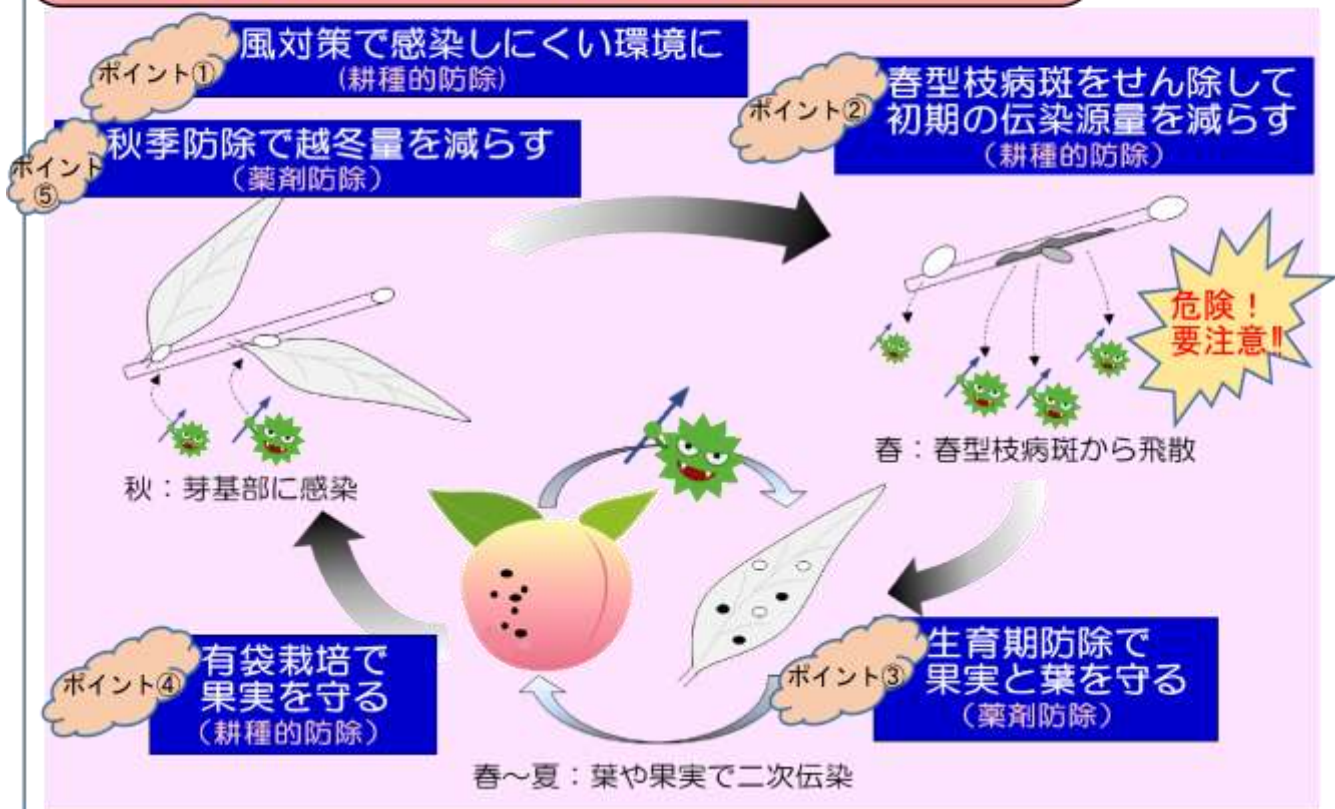


葉の発病



早期落葉

せん孔細菌病の発生生態と総合的な5つの防除ポイント



防除ポイントの解説

風対策（防風ネットの設置）

風当たりの強い風上方向に、2面以上に設置すると効果的です。

（強風に耐えられる強度が必要です。）

特に重要！



防風ネット

春型枝病斑のせん徐

落花期頃から春型枝病斑が見られるようになります。6月末までダラダラと発生することがありますので、定期的にせん徐しましょう。せん徐した枝は、園外に持ち出し、適正に処理（埋却、焼却等）しましょう。

5月中の早期せん徐を徹底しましょう！

↓ 病斑の位置



----せん徐の位置。せん徐するときは健全な芽を複数含めましょう

薬剤散布

【開花始期～秋季までの重要防除時期（地域の防除暦に基づいて実施）】

必ず行いましょう！

開花始期
落花直後～

IC ボルドー412 散布（30 倍液）

・抗生物質剤の散布
表 せん孔細菌病に効果が高い抗生物質剤の紹介

※農薬名	モモに対する適用登録	使用上の制限
アグレプト水和剤	収穫 60 日前まで 2 回以内	ネクタリン混植園では使用できない 極早生混植園では 5 月中旬まで
アグリ マイシン-100	収穫 60 日前まで 2 回以内	ネクタリン混植園では使用できない 極早生混植園では 5 月中旬まで
マイコシールド	収穫 21 日前まで 5 回以内	極早生混植園の場合 6 月上旬中まで

※令和 2 年 3 月現在の登録内容

9 月中旬～

IC ボルドー412 散布(30 倍液、2 週間ごとに 2～3 回)

収穫後、必ず
行いましょう！

長野県園芸作物生産振興協議会（うまいくだもの推進部会）

事務局：長野県 農政部 園芸畜産課 果樹・花き係

TEL:026-235-7227 FAX:026-235-7481 E-mail:enchiku@pref.nagano.lg.jp